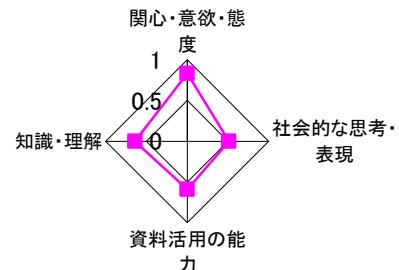


内容別・観点別の分析

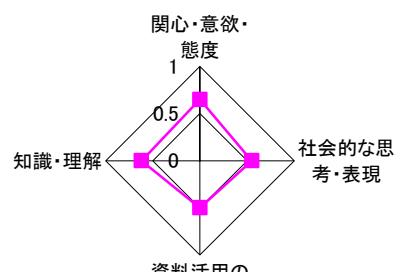
(様式2)

1年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	83%
社会的な思考・表現	51%
資料活用の能力	59%
知識・理解	64%



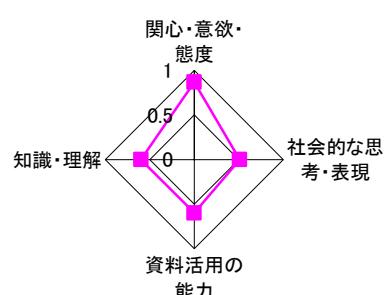
定期考查及び7月までの指導状況の分析

2年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	65%
社会的な思考・表現	55%
資料活用の能力	50%
知識・理解	62%



定期考查及び7月までの指導状況の分析

3年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	87%
社会的な思考・表現	51%
資料活用の能力	60%
知識・理解	60%



定期考查及び7月までの指導状況の分析

指導方法の課題分析と具体的な授業改善策及び補充学習等の計画 (様式3)			
	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な指導計画
1年	授業に意欲的に取り組んでいくこうという姿勢が感じられる生徒が多い。しかし、ごく一部に意欲の低い生徒もおり、声かけなどの配慮が欠かせない。社会に関する関心もあり、その内容を深めていくこうとする姿勢も良い。社会的な思考・判断の能力を高めるために絶えず工夫していきたい。	毎時間、前半25分間に課題プリントで調べ学習をし、本時の内容を把握させる。また、資料の読み取り練習も加えている。後半で、調べたことを発表させ、説明を加え疑問点を解消していく。	調べ学習が早めに終わった生徒は、ワークで問題演習をさせて、自主的に補充・発展学習を進めさせる。また長期休業に、世界の国新聞を出し、資料活用・思考判断考・表現の力を伸ばすようする。
2年	生徒一人一人の授業に対する姿勢が良いので内容の徹底をしっかりと取り組んでいくことができる。それが、知識・理解に影響を与えていている。また、資料活用の能力や社会的思考・判断の能力は十分でないように思われる。	生徒の興味・関心を高める教材の工夫が必要である。特に導入部に興味・関心を高める工夫をして授業にのぞみたい。また、基本的な知識や理解を身に付けさせるために小テストなどで基本事項の定着を図りたい。	基本的事項の定着を図るために放課後の指導も入れる必要がある。授業内の小テストなどを積極的に取り入れ基本学習の定着を定期的に行っていく。調べ学習も定期的に組み込んでいく。
3年	3年生となり、意欲をもって学習に取り組む生徒が圧倒的に多く、しっかりと授業に取り組んでいる。ごく一部、配慮の欠かせない生徒もいる。発達段階的にも物事の多面性を考え、自分の言葉で表現する力が付いてきているので、社会的な思考・判断の能力を高めるための指導の工夫をしていきたい。	公民の学習の中で、自分たちの生活に照らし合わせながら、基本的事象の背景や原因などについて考えさせ、社会的な思考・判断の力を付けさせたい。ワークシートなどに自分の考えを言葉で表現させ、発表させるなど、言語能力も身に付けさせていく。	長期休業に、税の作文と歴史テーマ新聞を出し、資料活用・思考判断考・表現の力を伸ばすようにする。1・2年の学習内容の復習の機会を設け、取りこぼした事象を補充していく。